

2019 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 2019 年度事業計画

(1) 会員活動 (★新設)

2019 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクトの充実、活性化を目指して活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

昨年度から引き続き、下記フォーラムを実施する。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(東京 1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・グローバルフォーラム(シンガポール 1 グループ)

(b) テーマ研究会

2018 年度は、次の 15 研究会を実施する。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・企業リスクマネジメント研究会
- ・ビジネスプロセス研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織人材育成研究会
- ・組織力強化研究会
- ・ソーシャルデザイン実践研究会★
- ・システム開発保守 QCD 研究会
- ・AI 研究会
- ・エコシステム研究会
- ・デジタル化研究会
- ・ダイバーシティ&インクルージョン研究会
- ・U35・次世代 IT とキャリアを考える研究会★

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。

2019 年度は下記 6 研究会を実施する。

- ・データエクスペリエンス研究会 — Data and beyond —
- ・情報共有研究会
- ・プロジェクト健全化研究会
- ・50 歳代からの女性のキャリアビジョン研究会★
- ・CITP コミュニティ研究会★
- ・IT エンジニア育成研究会★

(d) 研究プロジェクト

2019 度は、下記の 4 つの研究プロジェクトを実施する。

- ・ソフトウェアメトリクス 2.0 研究プロジェクト
- ・IT 運用コスト研究プロジェクト
- ・システム高度化研究プロジェクト
- ・未来ビジネスフォーラム
- ・人と組織の Well-Being プロジェクト★

(e) JUAS コミュニティ

既存の研究会・研究プロジェクトの枠にとらわれない活動を「JUAS コミュニティ」として実施する。

2019 年度は前年度から引き続き下記 2 つのコミュニティを実施する。

- ・ワークスタイル改革コミュニティ
- ・JUAS ITGC (IT Girls Community・女性 IT 技術者コミュニティ)

(f) 会員研修会 (JUAS アカデミー)

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の研究会として開催していく。

(g) 関西支部

前述の IT 企業トップフォーラム関西、IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西のほか、PARK (The place of advanced relationship in Kansai ※ミドルマネジメント向け 1 グループ) を引き続き開催し、さらなる活動の充実を目指す。

(h) 情報セキュリティ推進

会員企業の中で、特に情報セキュリティの強化が必要と考えられる業種を主な対象に、①定期的な情報発信として、情報セキュリティをテーマにした JUAS アカデミーの開催、②情報セキュリティワーキンググループ (WG) の開催、③情報セキュリティ人材育成プログラム (経営トップと専門技術者の間をつなぐ層や新たに情報セキュリティ管理を担当する層を対象とする) を検討・実施する。

(i) 認定個人情報保護団体

2019 年度は、全会員を対象に、加入事業者の拡大を図る。

b. セキュリティセンター (プライバシーマーク審査事業)

審査を取り巻く環境の変化 (規格の改正、IT 技術の進歩、ビジネス界の新たな動向等) がある中、審査品質の更なる向上を目指し、従来の審査員会議 (月 2 回開催) を継続するとともに、更に審査員の教育・育成体制を強化し、教育内容の充実を図る。

(2) 教育研修事業

会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化について、より一層の支援を行っていく。

これまでのオープンセミナーの定期講座、オーダーメイド研修、出版、ラボに加え、各社の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催し、さらに受講生の拡大を図る。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2018

2019 年 9 月 5 日 (木)・6 日 (金) の 2 日間、ハイアットリージェンシー東京にて、双方向型の情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンスの開催を予定している。開催 19 回目を迎える今年度は「未来想創 (みらいそうぞう) ～ 想いをカタチへ 確かな一歩～」をメインテーマとし、さらなる内容の充実を目指す。

b. イノベーション経営カレッジ

2019 年度も度引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム (人材育成)、コミュニティ (同窓会)、ラボ (研究) の 3 つのカテゴリーで実施する。

2019 年度はこれまで 16 回実施してきたミドルマネジメント層向けのプログラムを引き続き実施するとともに、2018 年度新たに実施した事業創造のための協創の場「Challenge Camp」についても前年度の活動をふまえて進めていく。

(4) 調査研究

2018 年度までの調査研究事業をベースに新規事業を含めて積極的に実施していく。

a. ソフトウェアメトリックス調査

2004 年度から継続しているソフトウェア開発生産性に関する品質、価格、工期等のメトリックス調査は、2017 年度に内容を大幅に見直しして 3 年目となるが、さらなるデータ蓄積を図り、分析を充実させていく。

また運用に関するメトリックス調査も引き続き実施する。

b. 攻めの IT 経営評価指標等策定事業 (経済産業省委託事業)

昨年度に引き続き、「攻めの IT 経営」の普及推進に関する事務局業務を受託している。

主な実施内容は以下の通りである。

(1)「攻めの IT 経営」に関するアンケート調査の分析・調査

(2)「攻めの IT 経営銘柄 2018」の普及イベントの開催

c. 産業別高齢者雇用推進事業 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構委託事業)

急速な少子高齢者の進展のもと、産業ごとに高齢者の持つ豊かな知識・経験を図り、産業・企業の活性化を図ることを目指し、企業における高齢者の状況と課題を調査し、65 歳以降も企業で活躍してもらうために必要な方策をとりまとめる。JUAS では「情報子会社」を対象に調査を実施する。多くの情報子会社は、1980 年～1990 年代に設立され、当初に入社した社員が高齢に差し掛かっている。高齢層の持つ技術やノウハウを継承しつつ、強みを活かして活躍してもらうために必要な方策を調査・検討する。

d. 教育訓練プログラムの開発・実証 (厚生労働省委託事業)

「デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進リーダー養成プログラム」を開発する。

DX の推進を見据えたレガシー刷新に必要となる幅広い IT の技術的な知識に加え、経営的価値や経営課題を理解し、マネジメントをできる人材の育成を目指すプログラムを開発する。DX およびその基盤となるレガシーシステム刷新は、IT 業界だけでなく全ての業界において直面する課題であり、今後あらゆる企業・業種でデジタル化への対応が必要となることを踏まえ、業種横断で活躍できることを前提に人材育成プログラムを開発することで、育成された人材のキャリアアップや、外部登用による人材の流動化につながるプログラムとする。

(5) 企業 IT 動向調査 (公益目的支出計画実施事業)

企業の IT 投資、IT 導入状況、IT 活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。調査の方法は、アンケートとインタビューを併用する予定である。また、アンケート調査は 2017 年度より継続して、郵送と Web 回答を併用する。

※2012 年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。